

秋月～呉中央航路における社会実験運航終了後の方針について

1 これまでの経緯

- 21 年度に、年間約 2,600 万円（1 カ月あたり 215 万円）の赤字が発生
- 経営状況の悪化から 6 月末日で廃止の申出
- 利用者から存続を求める嘆願書の提出
- 減便、運賃の値上げ、人件費の削減により試算
- 試算ダイヤによる社会実験運航実施のための補正予算議決（6 月議会）
（1 カ月あたり 140 万円）
- 社会実験運航の実施（7 月～10 月）
- 期間中の利用状況やアンケート調査の結果などをもとに、9 月末までに方針を決定

2 社会実験運航の状況について

- 運航実績（速報値）7 月 1 日（木）～9 月 18 日（土）

運航日			利用者数（1 日あたり）		
			実績	試算	試算との比較
平日	夏休み前	(7/1～21)	(236.4 人/日)	265 人/日	(▲28.6 人/日)
	夏休み中	(7/22～8/31)	(189.3 人/日)		(▲75.7 人/日)
	夏休み後	(9/1～17)	(210.8 人/日)		(▲54.2 人/日)
土曜日	夏休み前	(7/3～17)	(91.0 人/日)	91 人/日	(±0 人/日)
	夏休み中	(7/24～8/28)	(84.8 人/日)		(▲6.2 人/日)
	夏休み後	(9/4～18)	(78.7 人/日)		(▲12.3 人/日)

※ 参考資料 別紙 資料 1 - 2

3 アンケート調査の実施

① 船内アンケート

調査日	利用者数	回答数	回答率
7 月 10 日（土）	97.5 人	63 人	64.6%
16 日（金）	246 人	136 人	55.3%
計	343.5 人	199 人	57.9%

※ 調査結果の概要は、別紙 資料 1 - 3

② 秋月地区住民アンケート

- 調査期間：8 月 6 日～ 16 日（郵送により調査票を配布・回収）
- 調査対象者：秋月地区に居住する 15 歳以上の 360 人（無作為抽出）
- 回答状況（8/31 現在）

発送数	回答数	回答率
360 人	254 人	70.6%

※ 調査結果の概要は、別紙 資料 1 - 4

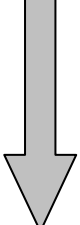
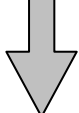
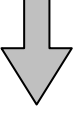

4 収支の状況

(円)

月	収入			費用 (B)	差引 (A - B)
	収入 (a)	補助金 (b)	計 (A (a+b))		
7月	1,326,145	1,400,000	2,726,145	3,503,874	▲777,729
8月	1,282,373	1,400,000	2,682,373	2,853,393	▲171,020
計	2,608,518	2,800,000	5,408,518	6,357,267	▲948,749

※1カ月当たりの補助金額 1,400,000円

5 社会実験運航後の方針 (案)

	航路の存続	航路の存続が不可能な場合	
		海上交通で対応	陸上交通で対応
		ケース①	ケース②
11月	●11月以降も航路での運航を継続 【海上交通で対応】 ・大昭汽船又は他社による運航 	●陸上代替交通の導入までの対応(3月末日まで)【海上交通で対応】 ・他社による運航 	●陸上代替交通の導入までの対応(3月末日まで)【陸上交通で対応】 
12月			
(H23) 1月			
2月		陸上交通での運行開始(4月1日～) 	
3月			
4月～			

6 大昭汽船株の意向

- 市の補助金がなければ運航は困難
- 他社に航路を譲渡するなど、運航存続に向けて協力をしたい

7 市の考え

- 社会実験運航の乗船実績及び収支状況等から、市の補助を継続し航路を存続することは難しいと判断
- 社会実験運航は、当初の予定どおり10月末で終了
- 他社から社会実験運航終了後、市の補助は受けずに運航を行いたい申し入れがあったため、ケース①の他社による運航で調整したい

8 協議事項

- 社会実験運航の終了について
- 他社による運航について
- 陸上代替交通の検討について